

## 礼拝説教要旨

2012年7月29日

赤江 弘之牧師

### 『神の栄冠を得るために』

ピリピ3：10～16

はじめに

#### 1. ゴールを目指して走っている（14節）

① スタートラインに立つのは主の恵み（9節）

② 目標は死者の中からの復活に達すること（10、11節）

「私たちの国籍は天に在ります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになることを、私たちは待ち望んでいます」（ピリピ3：20）。

#### 2. 上に召して下さる栄冠を得る（14節）

① 栄光の冠 = 金メダル？「朽ちない冠」（古代オリンピアの月桂冠ではなく）

「また闘技をする者は、あらゆることについて自制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです」（Iコリント9：25）。

② 義の冠

「今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい 審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです」（IIテモテ4：8）。

#### 3. 神の栄冠を得る走り方（13節）

① 「うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進む」

イスラエルの民は、試みに遭ってくじけてしまい、昔を懐かしがるようになった（民数記11：4～6）。私たちはその轍を踏んではならない。ただ自分の最善を尽くして前進し続ける、「キリストの僕」（ピリピ1：1）使徒パウロに倣いたい。

『人生を導く5つの目的』34日目「しもべのように考える」p351参照

② 「ただ、この一事に励んでいます」

キリストのしもべは、アスリートが自分に打ち勝つ訓練を重要視するように、自分を制し、聖霊の助けによって意志の力で自我に打ち勝たねばなりません（前記 Iコリント9：25）。

『人生を導く5つの目的』p95、p107、p141参照

むすび

信仰の先輩たちの声援に励まされ、私たちの行程を走り続けよう。（ヘブル12：1）

柱一本！ 釘一本！ 瓦一枚！の精神で。年金生活の中から、こつこつと！

しかし、「この一事」つまり自分の家を建てるつもりで。

信仰義認の感謝と喜びのゆえに！「義の栄冠が待っている」（IIテモテ4：8）。